



2020年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年7月30日

上場会社名 アステラス製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4503 URL <https://www.astellas.com/jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長CEO （氏名）安川 健司
 問合せ先責任者（役職名） 広報部長 （氏名）緒方 ステイグ （TEL）03(3244)3201
 四半期報告書提出予定日 2019年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 （証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2020年3月期第1四半期	334,134	1.5	77,086	21.3	76,528	18.7	58,518	7.3	58,518	7.3	27,045	△61.8
2019年3月期第1四半期	329,085	2.0	63,548	46.0	64,495	33.1	54,559	28.5	54,559	28.5	70,861	△15.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	31.03	31.00
2019年3月期第1四半期	27.68	27.65

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2020年3月期第1四半期	1,927,031	1,249,708	1,249,708	64.9
2019年3月期	1,897,648	1,258,396	1,258,396	66.3

2. 配当の状況

	年 間 配 当 金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通 期	1,224,000	△6.3	229,000	△6.1	230,000	△7.6	182,000	△18.1	182,000	△18.1	96.51

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭	
通 期	1,224,000	△6.3	240,000	△13.8	194,000	△22.2	102.87	

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料P.2に記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期第1四半期	1,888,823,175株	2019年3月期	1,979,823,175株
② 期末自己株式数	2020年3月期第1四半期	2,713,572株	2019年3月期	93,986,348株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期第1四半期	1,885,959,029株	2019年3月期第1四半期	1,970,872,905株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.9をご覧ください。

(四半期決算説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算短信の開示とあわせて四半期決算補足資料及び四半期決算説明会資料を開示しています。

また、2019年7月30日（火）に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けにカンファレンス・コールを開催する予定です。このカンファレンス・コールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 要約四半期連結純損益計算書	10
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	12
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	14
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	16
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(会計方針の変更)	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結業績（コアベース^(注)）>

当第1四半期（2019年4月1日から6月30日）の連結業績（コアベース）は下表の通りです。売上収益、コア営業利益は増加、コア四半期利益は減少しました。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前第1四半期 (2019年3月期)	当第1四半期 (2020年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	329,085	334,134	+5,049 (+1.5%)
売上原価	70,736	70,512	△223 (△0.3%)
販売費及び 一般管理費	112,888	117,470	+4,583 (+4.1%)
研究開発費	52,132	53,507	+1,375 (+2.6%)
無形資産償却費	9,039	7,178	△1,861 (△20.6%)
持分法による投資損益	△252	△728	△475 (-)
コア営業利益	84,038	84,738	+700 (+0.8%)
コア四半期利益	70,350	67,101	△3,249 (△4.6%)
基本的1株当たり コア四半期利益（円）	35.70	35.58	△0.12 (△0.3%)

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、当社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料に記載しています。

【売上収益】

売上収益は3,341億円（前年同期比1.5%増）となりました。

- ・ 過活動膀胱（OAB）治療剤ベシケア、抗がん剤タルセバの独占販売期間満了による影響を受けましたが、主力製品の売上拡大や新製品の伸長により増収となりました。
- ・ 前立腺がん治療剤 XTANDI／イクスタンジ、OAB 治療剤ベタニス／ミラベトリック／ベットミガの売上が引き続き拡大したほか、2018年12月に日本と米国で発売したFLT3 阻害剤ゾスパタが増収に寄与しました。
- ・ また、2019年3月に発売した骨粗鬆症治療剤イベニティをはじめ、日本の新製品群が伸長しました。

【コア営業利益／コア四半期利益】

- ・ 売上総利益は2,636億円（同2.0%増）となりました。売上原価率は、未実現利益の消去に係る為替の影響等により前年同期に比べ0.4ポイント低下し、21.1%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、1,175億円（同4.1%増）となりました。主に、XTANDIに係る米国での共同販促費用が売上拡大に伴い増加しました。また、新製品立ち上げのために必要な投資も行っていますが、一方で、経費の効率的な使用やリソース配分の最適化等を推進しました。
- ・ 研究開発費は、535億円（同2.6%増）となりました。重点後期開発品や新たな領域・技術への投資拡充に伴う費用等が増加しました。売上収益研究開発費比率は、前年同期に比べ0.2ポイント増加し、16.0%となりました。
- ・ 無形資産償却費は、72億円（同20.6%減）となりました。

以上の結果、コア営業利益は847億円（同0.8%増）となりました。コア四半期利益は、前年同期における法人税等の負担率が一時的な要因により低下したことなどもあり、671億円（同4.6%減）となりました。

【為替の業績への影響】

当第1四半期の為替レートは、下表の通りです。これらの結果、前第1四半期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては51億円の減少、コア営業利益においては4億円の増加の影響がありました。

期中平均レート	前第1四半期	当第1四半期	変動
米ドル/円	109	110	1円安
ユーロ/円	130	123	7円高

期首・期末の変動	前第1四半期	当第1四半期
米ドル/円	4円安	3円高
ユーロ/円	3円高	2円高

<連結業績（フルベース）>

当第1四半期の連結業績（フルベース）は下表の通りです。売上収益、営業利益、税引前四半期利益、四半期利益はいずれも増加しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」（減損損失、為替差損等）等が含まれます。

当第1四半期における「その他の収益」は45億円（前年同期：42億円）、「その他の費用」は122億円（同：247億円）となりました。選択的ニューロキニン3（NK3）受容体拮抗薬 fezolinetant の開発が第3相試験段階に入ったことに伴い、開発の進捗に応じて支払うオジェダ社の旧株主への条件付対価の公正価値が増加したため、その増加分を「その他の費用」に計上しました。

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前第1四半期 (2019年3月期)	当第1四半期 (2020年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	329,085	334,134	+5,049 (+1.5%)
営業利益	63,548	77,086	+13,538 (+21.3%)
税引前四半期利益	64,495	76,528	+12,033 (+18.7%)
四半期利益	54,559	58,518	+3,959 (+7.3%)
基本的1株当たり 四半期利益（円）	27.68	31.03	+3.35 (+12.1%)
四半期包括利益	70,861	27,045	△43,817 (△61.8%)

【主要製品の売上】

(単位：億円)

	前第1四半期 (2019年3月期)	当第1四半期 (2020年3月期)	増減率
XTANDI/イクスタンジ	812	960	+18.2%
ゾスパタ	—	25	—
泌尿器 OAB 製品	593	535	△9.8%
ベタニス/ミラベトリック /ベットミガ	344	399	+16.1%
ベシケア	249	136	△45.6%
プログラフ*	522	504	△3.4%

*プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフ XL を含む

◇ XTANDI/イクスタンジ

- ・売上は960億円（前年同期比18.2%増）となりました。日本、米国、エスタブリッシュドマーケット*1、グレーターチャイナ*2及びインターナショナル*3の全ての地域で売上が拡大しました。

◇ ゾスパタ

- ・2018年12月に日本、米国で発売したゾスパタの売上は25億円となりました。

◇ 泌尿器 OAB 製品

- ・ベタニス/ミラベトリック/ベットミガの売上は399億円（同16.1%増）となりました。全ての地域で売上が増加しました。また、ベシケアの売上は、米国及び欧州での独占販売期間満了に伴う後発医薬品発売の影響を受け、136億円（同45.6%減）となりました。

◇ プログラフ

- ・売上は504億円（同3.4%減）となりました。グレーターチャイナで伸長しましたが、米国、エスタブリッシュドマーケット及びインターナショナルの売上が減少しました。

◇ その他の主要製品・新製品の状況

- ・ 日本では、**スーグラ**と**スージャヌ**配合錠を合わせた2型糖尿病治療剤のほか、高コレステロール血症治療剤**レパーサ**、慢性便秘症治療剤**リンゼス**等の売上が引き続き拡大しました。また、2019年3月に発売した**イベニティ**の売上が好調に推移しました。
- ・ 米国では、アゾール系抗真菌剤**クレセンバ**の売上が拡大しました。

*1 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ、オーストラリア

*2 グレーターチャイナ：中国、香港、台湾

*3 インターナショナル：ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等

【地域別売上収益の状況】

地域別の売上収益は下表の通りです。日本、米国、グレーターチャイナ、インターナショナルは増加、エスタブリッシュドマーケットは減少しました。

エスタブリッシュドマーケットは為替の影響を受けて減少しましたが、その影響を除くと増加しました。

(単位：億円)

	前第1四半期 (2019年3月期)	当第1四半期 (2020年3月期)	増減率
日本	941	985	+4.6%
米国	1,027	1,053	+2.5%
エスタブリッシュド マーケット	769	758	△1.4%
グレーターチャイナ	137	147	+7.4%
インターナショナル	321	342	+6.6%

(2) 財政状態に関する説明

①資産、資本及び負債の状況

当第1四半期末(2019年6月30日時点)の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下の通りです。

【資産】

当第1四半期末における総資産は1兆9,270億円(前期末比294億円増)となりました。

<非流動資産>当第1四半期末:1兆1,069億円(同664億円増)

- ・ のれんは2,201億円(同57億円減)、無形資産は4,237億円(同60億円減)となりました。
- ・ IFRS第16号「リース」の適用により、当期首に使用権資産を831億円追加で認識したことに伴い、有形固定資産は2,519億円(同784億円増)となりました。

<流動資産>当第1四半期末:8,201億円(同370億円減)

- ・ 現金及び現金同等物は2,594億円(同517億円減)となりました。

【資本】

資本合計は、1兆2,497億円(同87億円減)となり、親会社所有者帰属持分比率は64.9%となりました。

- ・ 四半期利益585億円を計上した一方で、剰余金の配当358億円を実施しました。
- ・ 在外営業活動体の外貨換算差額が資本の減少方向に263億円変動しました。
- ・ なお、2019年5月31日に自己株式の消却1,596億円(9,100万株)を実施しました。

【負債】

負債の合計は、6,773億円(同381億円増)となりました。

<非流動負債>当第1四半期末:2,132億円(同716億円増)

- ・ IFRS第16号「リース」の適用により、当期首にリース負債を755億円追加で認識したことに伴い、その他の金融負債は1,296億円(同767億円増)となりました。

<流動負債>当第1四半期末:4,642億円(同335億円減)

- ・ IFRS第16号「リース」の適用により、当期首にリース負債を169億円追加で認識したことに伴い、その他の金融負債は435億円(同294億円増)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、74億円（前年同期比298億円減）となりました。

- ・ 法人所得税の支払額が106億円となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△140億円（同164億円支出増）となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、△404億円（同229億円支出減）となりました。

- ・ 配当金の支払額は358億円（同3億円増）となりました。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、2,594億円（前期末比517億円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当期の連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。

当期(2020年3月期)の通期連結業績予想は下表の通りです。2019年4月に公表しました業績予想を据え置いています。

[通期連結業績予想(コアベース)]

(単位:百万円)

	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期予想	増減額 (増減率)
売上収益	1,306,348	1,224,000	△82,348 (△6.3%)
研究開発費	208,682	211,000	+2,318 (+1.1%)
コア営業利益	278,514	240,000	△38,514 (△13.8%)
コア当期利益	249,343	194,000	△55,343 (△22.2%)
基本的1株当たり コア当期利益(円)	129.07	102.87	△26.20 (△20.3%)

[通期連結業績予想(フルベース)]

(単位:百万円)

	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期予想	増減額 (増減率)
売上収益	1,306,348	1,224,000	△82,348 (△6.3%)
営業利益	243,912	229,000	△14,912 (△6.1%)
税引前利益	248,967	230,000	△18,967 (△7.6%)
当期利益	222,265	182,000	△40,265 (△18.1%)
基本的1株当たり 当期利益(円)	115.05	96.51	△18.54 (△16.1%)

[通期の想定為替レート]

2020年3月期(想定): 110円/米ドル、125円/ユーロ

2019年3月期(実績): 111円/米ドル、128円/ユーロ

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上収益	329,085	334,134
売上原価	△70,736	△70,512
売上総利益	258,349	263,622
販売費及び一般管理費	△112,888	△117,470
研究開発費	△52,132	△53,507
無形資産償却費	△9,039	△7,178
持分法による投資損益	△252	△728
その他の収益	4,239	4,522
その他の費用	△24,728	△12,174
営業利益	63,548	77,086
金融収益	1,166	766
金融費用	△219	△1,325
税引前四半期利益	64,495	76,528
法人所得税費用	△9,935	△18,010
四半期利益	54,559	58,518
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	54,559	58,518
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	27.68	31.03
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	27.65	31.00

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期利益	54,559	58,518
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	7,289	△4,224
確定給付制度の再測定	158	△908
小計	7,446	△5,132
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	8,856	△26,342
小計	8,856	△26,342
その他の包括利益合計	16,302	△31,473
四半期包括利益合計	70,861	27,045
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	70,861	27,045

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	173,483	251,898
のれん	225,864	220,129
無形資産	429,707	423,704
売上債権及びその他の債権	25,248	23,616
持分法で会計処理されている投資	3,653	5,117
繰延税金資産	92,958	90,886
その他の金融資産	81,457	81,235
その他の非流動資産	8,121	10,317
非流動資産合計	1,040,489	1,106,901
流動資産		
棚卸資産	151,511	150,539
売上債権及びその他の債権	342,628	358,800
未収法人所得税	20,113	22,677
その他の金融資産	2,607	3,934
その他の流動資産	25,080	24,756
現金及び現金同等物	311,074	259,422
小計	853,012	820,128
売却目的で保有する資産	4,147	2
流動資産合計	857,159	820,130
資産合計	1,897,648	1,927,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資本及び負債		
資本		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	177,301	177,087
自己株式	△164,629	△4,613
利益剰余金	991,957	854,412
その他の資本の構成要素	150,767	119,821
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,258,396	1,249,708
資本合計	1,258,396	1,249,708
負債		
非流動負債		
仕入債務及びその他の債務	1,572	1,597
繰延税金負債	5,175	5,072
退職給付に係る負債	40,163	41,085
引当金	5,416	6,216
その他の金融負債	52,882	129,626
その他の非流動負債	36,379	29,565
非流動負債合計	141,587	213,161
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	185,280	140,035
未払法人所得税	17,587	24,426
引当金	22,843	10,946
その他の金融負債	14,136	43,502
その他の流動負債	255,913	245,253
小計	495,759	464,162
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	1,906	—
流動負債合計	497,665	464,162
負債合計	639,252	677,323
資本及び負債合計	1,897,648	1,927,031

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2018年4月1日残高	103,001	177,219	△135,951	976,076	1,477	128,179
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した 2018年4月1日残高	103,001	177,219	△135,951	976,076	1,477	128,179
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	54,559	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	8,856
四半期包括利益合計	—	—	—	54,559	—	8,856
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△27,786	—	—	—
自己株式の処分	—	△281	340	△51	△7	—
自己株式の消却	—	—	130,419	△130,419	—	—
配当金	—	—	—	△35,571	—	—
株式報酬取引	—	127	—	—	—	—
振替	—	—	—	151	—	—
所有者との取引額合計	—	△154	102,973	△165,890	△7	—
2018年6月30日残高	103,001	177,064	△32,978	864,746	1,469	137,035
2019年4月1日残高	103,001	177,301	△164,629	991,957	1,127	125,656
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	58,518	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△26,342
四半期包括利益合計	—	—	—	58,518	—	△26,342
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
自己株式の処分	—	△313	436	△87	△37	—
自己株式の消却	—	—	159,581	△159,581	—	—
配当金	—	—	—	△35,831	—	—
株式報酬取引	—	99	—	—	—	—
振替	—	—	—	△564	—	—
所有者との取引額合計	—	△214	160,016	△196,063	△37	—
2019年6月30日残高	103,001	177,087	△4,613	854,412	1,090	99,315

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本合計
	その他の資本の構成要素				合計	
	売却可能 金融資産の 公正価値の 変動	その他の包括 利益を通じて 公正価値で 測定する 金融資産	確定給付制度 の再測定	合計		
2018年4月1日残高	18,289	—	—	147,945	1,268,289	1,268,289
会計方針の変更による累積的影響額	△18,289	18,289	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した 2018年4月1日残高	—	18,289	—	147,945	1,268,289	1,268,289
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	—	54,559	54,559
その他の包括利益	—	7,289	158	16,302	16,302	16,302
四半期包括利益合計	—	7,289	158	16,302	70,861	70,861
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	—	△27,786	△27,786
自己株式の処分	—	—	—	△7	0	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	△35,571	△35,571
株式報酬取引	—	—	—	—	127	127
振替	—	6	△158	△151	—	—
所有者との取引額合計	—	6	△158	△159	△63,230	△63,230
2018年6月30日残高	—	25,584	—	164,088	1,275,921	1,275,921

2019年4月1日残高	—	23,984	—	150,767	1,258,396	1,258,396
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	—	58,518	58,518
その他の包括利益	—	△4,224	△908	△31,473	△31,473	△31,473
四半期包括利益合計	—	△4,224	△908	△31,473	27,045	27,045
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	—	△1	△1
自己株式の処分	—	—	—	△37	0	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	△35,831	△35,831
株式報酬取引	—	—	—	—	99	99
振替	—	△343	908	564	—	—
所有者との取引額合計	—	△343	908	528	△35,733	△35,733
2019年6月30日残高	—	19,416	—	119,821	1,249,708	1,249,708

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	64,495	76,528
減価償却費及び無形資産償却費	16,080	17,012
減損損失(又は戻入れ)	3,004	—
金融収益及び金融費用	△947	558
棚卸資産の増減額	2,424	△3,482
売上債権及びその他の債権の増減額	△12,780	△22,011
仕入債務及びその他の債務の増減額	△5,862	△44,988
その他	△4,962	△5,627
小計	61,453	17,990
法人所得税の支払額	△24,274	△10,578
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,179	7,412
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,035	△7,342
有形固定資産の売却による収入	14,255	30
無形資産の取得による支出	△4,979	△3,156
子会社の取得による支出	—	△5,138
利息及び配当金の受取額	738	646
その他	△2,534	975
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,446	△13,985
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△27,786	△1
親会社の所有者への配当金の支払額	△35,571	△35,831
リース負債の返済による支出	—	△4,003
その他	68	△520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△63,289	△40,354
現金及び現金同等物の為替変動による影響	1,675	△4,725
現金及び現金同等物の増減額	△21,990	△51,652
現金及び現金同等物の期首残高	331,731	311,074
現金及び現金同等物の四半期末残高	309,741	259,422

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しています。

当社グループは、当第1四半期連結会計期間から、以下の基準を適用しています。

IFRS		新設・改訂の概要
IFRS第16号	リース	リースに関する会計処理の改訂

IFRS第16号の適用にあたり、契約がリース又はリースを含んだものであるかどうかを適用開始日現在で見直さない実務上の便法を適用しています。また、経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

当社グループは、契約時に契約がリース又はリースを含んだものであるかどうかを、契約の実質に基づき判断しています。リース期間は、解約不能期間に延長するオプションと解約するオプションを加えて決定していますが、適用開始日においては、事後的判断も使用しています。特性が合理的に類似したリースのポートフォリオには単一の割引率を使用しています。短期リース及び原資産が少額であるリースについては、使用権資産とリース負債を認識せず、当該リースに関連したリース料をリース期間にわたり費用として認識する場合があります。

① 使用権資産

使用権資産は、リース開始日時点のリース負債の当初測定額に、発生した当初直接コスト等を調整した取得原価で測定しています。

開始日後は、使用権資産の耐用年数又はリース期間のいずれか短い方の期間にわたり、定額法で減価償却しています。

② リース負債

リース負債は、リース開始日時点で支払われていないリース料をリースの計算利率を用いて割り引いた現在価値で当初測定しています。リースの計算利率を容易に算定できない場合には、追加借入利率を使用しています。

開始日後は、リース負債に係る金利を反映するように帳簿価額を増額し、支払われたリース料を反映するように帳簿価額を減額し、リース負債の見直しやリースの条件変更等に伴って必要に応じて再測定しています。

IFRS第16号の適用により、要約四半期連結財政状態計算書において、適用開始日に使用権資産として「有形固定資産」を83,061百万円、リース負債として非流動負債及び流動負債の「その他の金融負債」をそれぞれ75,455百万円、16,859百万円追加で認識しています。その他の資産及び負債への重要な影響はありません。利益剰余金期首残高への影響はありません。要約四半期連結純損益計算書への重要な影響はありません。要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、従来、営業活動によるキャッシュ・フローに分類していたリース料を、主に、財務活動によるキャッシュ・フローとして分類しています。